

全館空調で他社と差別化

リアライズ(釧路市) UA値0.19Wのモデル

釧路市の工務店、リアライズ(落合淳也社長)は、システック環境研究所(東京都)が開発した

「全館空調システム「コンパクト24」を搭載したモデルハウスを昨年11月、同市昭和5丁目

「新しい指針として注目を集めている。モデルハウスには5月

「二アリーZEH」にこだわったモデルハウスをも



▶リアライズの落合社長

▶防音扉の付いたコンパクト24「空調ユニット

の一般市民が来場し、うち3組が成約した。落合社長によると、モデルハウスをオープンしてから、同社の顧客層の収入水準が高まっているという。

特筆すべき点はUA値。0.19W/mKを記録し、システック社によると道東地域の同システムを導入したケースでは最も低い数値となった。これを実現した背景にはいくつかの要因がある。

敷地面積は331.43㎡、延床面積は110.95㎡。断熱材はアキレスフォーム70mmの外張り工法で他社との差別

化を図った。給湯はエコキュート(370ℓ)。太陽光発電は4kWを搭載。システック社によると「8kWにすればフルZEH化も容易という。「コンパクト24」システムとこれらのコンビネーションが低いUA値を生み出し、2階まで続く吹き抜けの上下の温度差は1度未満。光熱費は年間14万円以下に抑えられるという。本体の空調ユニット部を設置した寝室クローゼットには防音扉を採用し、かすかな振動音もシャットアウト。暮らしへの細やかな配慮に事欠かない。

「二アリーZEH」にこだわったモデルハウスをもう1棟建てたい」と落合社長は話す。ZEHの普及率が全国最低水準の北海道において、「道東型二アリーZEH」の確かな手ごたえを感じているようだ。

創業から8年目となる同社は、これまでオール電化仕様やエコジョーズを使った住宅建築を手がけてきたが、「釧路市内の他社とは違う住宅を建てたい」という思いがあった。そのタイミングでシステック社との出会いがあり、全館空調による高断熱住宅への興味や光熱費を安く抑えられるメリットに惹かれ、同システムを導入する運びとなった。

今回のモデルハウスの設計では最大限の断熱効果を考慮に入れ、窓の位置と大きさ、間取りに重点を置く。上下開閉式ですべてトリプルガラス樹脂窓を使用。南側に小さな窓を複数配置、北側にはほとんど窓がない。

モデルハウスでは床の暖かさや室温の快適さが肌で実感できる。快客には釧路で根強い紙媒体の無料配布情報紙を使い、掲載されたQRコードから来場の予約ができる仕組み。坪単価は68万円。